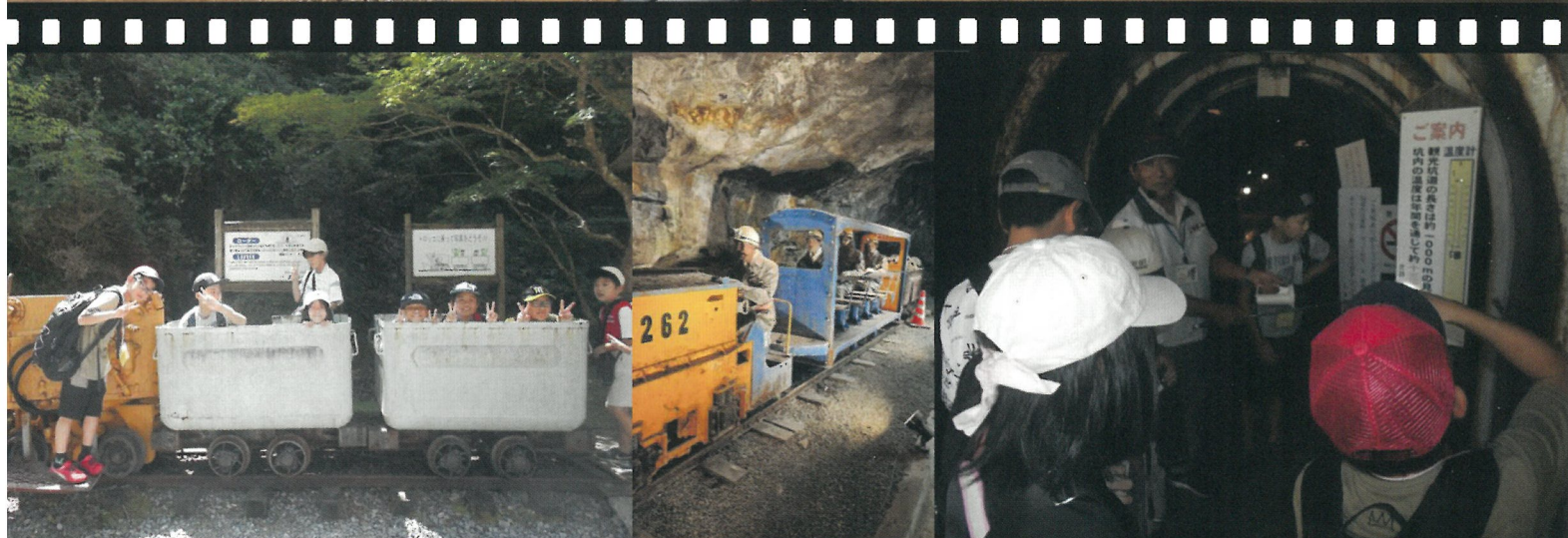


2024 年度 南あわじ市生涯学習推進室

子ども情報誌



今年の夏の猛暑は観測史上最高でした！ そんな猛暑の中、地底探検へ行ってきましたヨ！
地上では体温を超えるような暑さでも、地底は何と 13℃しかありません。
かつて世界有数の産出量を誇り西日本の経済を支えた銀の産地と、搬出港を繋ぐ日本遺産『銀の馬車道』を学ぶための歴史講座で訪れましたが、究極の避暑体験となりました。地上からわずかの距離に別世界が存在することの不思議に遭遇しました。

南あわじ市
学山楽しす日本一



平成7年1月17日火曜日午前5時46分52秒に発生した巨大地震により、災害関連を含めて6千名を超える人命が奪われた阪神淡路大震災から30年が経過しました。次世代を担う子ども達にとって忘れてはならない過去の教訓であり、今後確実に経験する事になるであろう南海トラフ巨大地震への備えをしっかりと持つために、わんぱく塾では防災教育にも力を入れて取り組んでいます。

近年、少子化の影響もあってわんぱく塾の参加者が減少していますが、違う学校であったり違う年齢の子どもたちが、体験型学習を通じて一緒に楽しい時間を過ごす経験ができる貴重な事業であります。今後とも南あわじ市の誇る生涯学習事業として続けてまいります。

南あわじ市では『学ぶ楽しさ日本一』を目標に掲げて教育環境の充実に取り組んでいます。わんぱく塾での学びは地域社会における学ぶ機会の創出であり、今後は子ども達を取り巻く地域の皆様方にも参画して頂き、未来を担う子ども達の成長を支えて頂ければ幸いと存じます。

わんぱく塾実行委員長 岸上 敏之



『学ぶ楽しさ日本一』とは

『学ぶ楽しさ』は、ある物事に興味を持ち、自分で調べたり、上手な人を見習ったり、周りの人と一緒に切磋琢磨したりといった、何かに『没頭』することから始まります。その中で『発見』があり『感動』が生まれ、それを繰り返しながら、知識を得て、自らが進歩していく方法を習得していきます。

子どもも大人も年齢にかかわらず、何かを楽しんで身に付けていく経験を重ねることで生きがいに繋げていくとともに、こうした経験がまちづくりに活かされ、さらに**多くの学びの場に繋がる好循環を生み出すような環境を地域社会や学校で整え、市全体で応援していくことが、本市の『学ぶ楽しさ日本一』を目指す教育です。**

「わんぱく塾」を取り巻く厳しい環境！

わんぱく塾の主な開催時期は小学校の夏休みです。最近の夏休みは、さまざまな環境変化でいろいろと活動が制限されていました。今度は異常な猛暑が待ち受け、淡路島が熱帯地域の島国になったような状況です。そのため、近年は**屋内で実施できる事業に限定**していました。

それでも、じっちゃんの名にかけて！では無く、わんぱくの名にかけて今年からはアウトドア事業と料理作り事業を再開してみました。わんぱく塾伝説のアトラクション指導者である「えのちゃん」が復活してくれたこともあり、キャンプファイヤーを3年ぶりに開催しました。開始時刻を遅らせて多少涼しくなる夕方から始めました。化石ホルダーも夕方開始です。神河町交流事業では、涼しい地底探検を織り交ぜての開催。パン作りやケーキ作りは参加者数を制限して開催するなど、厳しい環境に対応すべく工夫を凝らして実施しました。

年々子どもの数が少なくなっていて、青少年事業への参加者も減ってきていますが、**来年度は今年以上にわんぱく体験ができるような楽しい事業を計画**していきます。海や川や山などのアウトドアフィールドを使った自然体験遊びこそがわんぱく塾の真骨頂であり、学ぶ楽しさ日本一を目指す一つの取り組みとして続けていきますので、来年も期待してください。



わんぱく塾事務局 ワン パーク 大王



発行者：わんぱく塾事務局 南あわじ市生涯学習推進室

〒656-0492 南あわじ市市善光寺 22-1 TEL 0799-43-5038 Fax 0799-43-5138